

翁の式社考の端を開られたるに基く抑該二書の如き
僅々數葉に過ぎずと雖斯の如く攷説の麻柱に備ふるも
の少らざれば故に此に附記して其功を知らしむむと
附云ふ當社素よと狹隘の祠域なるも亦多く社木を伐
れるより大に風致を失へて近比諸社に此事の專行は
る、は無端ちざの極や謂ふべし

長濱神社

同郡長濱村麻坂鎮座長濱の明神神階 舊稱神明社是な
り國圖豆志攷 當社頗衰替ふ屬したれや顧る者なきふ
如し又祭神を伊勢大神なりや云はは神明の稱に拘め

久豆彌神社

臆断よて其實は符ふべし

所在未定賀茂郡岡村鎮座今稱葛見神社國圖豆志攷
説 同郡熱海村熱海の湯の明神神階 今稱湯前神社攷
進の一 同郡八幡村來宮社攷 三社の内孰を
らむ確定めがむしうて來宮神社は神階帳の多の明
神多の字の下見を脱したるよて多見の明なるむの能
く攷へまほしき事にあそ

石徳高神社

今は分祀して二社なり其一是君澤郡北江間村鎮座小